



3月の生活目標
学校をきれいにしよう

「根を育てれば 樹は おのずから育つ」

校長 山下裕司

先日、2月28日に保護者、地域の皆様向けに研究発表会を開催いたしました。多くの方々にお越しいただいたことに心より御礼申し上げます。

この1年間、取り組んでまいりました「子どもの文脈で学習できる単元開発」の具体的な授業を参観いただきました。授業を見ていただいたうえで、研究部からの提案、成果と課題等を発表し、最後に年間講師である上智大学教授 奈須 正裕 先生に指導講評として、ご講演いただきました。

保護者、地域の皆様には、研究授業、研究協議、講師の先生からのご指導と一連の流れを見ていただき、校内研究そのものをご理解いただけたかと思えます。

さて、この校内研究も手段であり、目的ではありません。目的は、「学園生の自立した学び」です。子どもたちが、学びの本質にふれて、問いをもち、仲間とかかわり合いながら問題を解決する主体的、対話的で深い学びです。学習者の立場から見た指導の個別化、学習の個性化による個別最適な学びと協働的な学びの往還の実現も子どもの自立した学びを生み出します。このような個の「学び」を引き出すために「子どもの文脈で学習できる単元開発」を校内研究のテーマとし、取り組んでいるのです。

ただ、「自立した学び」を創造することはとても難しく、時間がかかるものです。そこには教育者としての葛藤もあります。教えたがいのことは、教えない。教えたがいのことは気付かせる。その気づきこそが子ども一人一人の文脈となり深い学びへとつながる。そこで習得した力は、本物の力で、何事にも汎用する力となる。こう信じて毎日の授業に臨む。それが教えることを生業とする者、そう教師の宿命なのです。

このようなことを考えているとき、先輩の教育者である東井義雄氏の言葉が、ふと頭に浮かびます。

「根を育てれば 樹は おのずから育つ」

自立した学びとは、この根を育てることではないでしょうか。

令和6年度の三小の取組について簡潔に表した「これを見れば令和6年度の第三小がまるわかりリーフレット」を先月末に配信いたしました。ご覧いただき、学校、保護者、地域が一体となって子どもたちの根っこを育てたいと考えます。

令和5年度も終幕を迎えます。次年度も引き続き、学園、学校の取組にご理解をいただき、ご協力をお願い申し上げます。

3月の行事予定

※ 行事や学習の予定は、感染状況等により変更がある可能性があります。ご承知おきください。

月	火	水	木	金	土
				1 朝読書 保護者会 (1年) 13:30~ (3年) 14:45~	
4 B 感謝の会 → 保護者会 (6年) 13:40~	5 全校児童朝会 6年生を送る会	6	7 保護者会 (5年) 14:45~	8 朝読書 保護者会 (2年) 13:30~ (4年) 14:45~	
11 B 委員会(最終)	12 児童朝会(1・2年) 小小交流 (1年) 1・2時間目	13	14 CAP ワークショップ (3年) 5・6時間目 (保護者参加) 15:30~16:30	15 朝読書	
18 B	19 大掃除 未来のくらし'20'イ外 (4年) 11:20~16:00	20 春分の日	21 給食終 4時間授業(1~4年) 卒業式予行(5・6年) 5・6時間目	22 朝読書 修了式 2時間授業(1~4・6年) 10:20頃下校 3時間授業(5年) 3時間目に卒業式準備 11:35頃下校	
25 卒業式	26 春季休業日始	27	28	29	

4月当初の予定
4月5日(金) 春季休業終了 新6年生登校日
8日(月) 始業式 入学式 新2~5年3時間授業 新6年5時間授業 新6年給食始
9日(火) 4時間授業 新2~5年給食始